

アカガシラカラスバトについて

1. 種名

アカガシラカラスバト（学名 *Columba janthina nitens*）ハト目ハト科

2. カテゴリー

- ・環境省レッドリスト（2006）では、絶滅危惧 I A 類。

3. 生態等

- ・詳しい生態は不明部分もあるが、ガジュマル、シマホルトノキ、クワ類、センダン、ムニンシロダモなどの木の実を主な食物とする森林性の鳥。
- ・主な生息環境は、上記の樹木が多く生育している極相に近い暗い森林と考えられている。

4. 個体数の推移

- ・小笠原諸島全体で数十羽程度と推定。

5. 減少した要因

- ・島外から持ち込まれた動植物による、在来植生（特に本種の餌となる植物）の破壊（アカギの増殖による在来植生の後退・減少、ヤギによる在来植生の食害等）。
- ・クマネズミとの餌資源の競合。
- ・ノネコによる捕食被害が懸念。

6. 保護施策

- ・昭和 44 年、天然記念物に指定。
- ・平成 5 年、種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」に指定。
- ・生息地の巡視、餌となる植物の植林等の事業を実施（林野庁）。
- ・平成 12 年度より、上野動物園が飼育下繁殖への取り組みを実施。平成 14 年 11 月に飼育下繁殖に初めて成功（東京都）。平成 17 年 11 月現在 11 羽を飼育。
- ・平成 18 年 8 月に農林水産省、文部科学省と共同で「保護増殖事業計画」を策定。



アカガシラカラスバト（成鳥）